

第132回

2018. 2. 14

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業304社、回答企業184社、回答率60.5%
調査対象期間	2017年10～12月期の実績、2018年1～3月期および4～6月期の予想
調査時点	2018年1月上旬～下旬

要約

2017年10～12月期の業況判断は改善 2018年1～3月期は悪化するが4～6月期は再び改善の見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSIについて、2017年7～9月期と比べ10～12月期(前期→当期： $\Delta 18 \rightarrow 2$)は改善した。前回調査時の予想(1)と比べると、ほぼ横ばいとなっている。業種別でも、製造業(同： $\Delta 19 \rightarrow \Delta 5$)、非製造業(同： $\Delta 18 \rightarrow 5$)ともに改善した。

先行きについて、2018年1～3月期の業況判断($\Delta 12$)は、好転を予想する企業の比率が低下することなどから、悪化する見通し。一方、4～6月期の業況判断($\Delta 1$)は再び改善する見通しである。

2017年10～12月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期からほぼ横ばいとなったが、総投資額は製造業、非製造業ともに減少しており、同19.3%減の約138億円となった。先行き2018年1～3月期の計画は、実施企業の比率は前年同期から低下するものの、金額は同1.1%増の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べると、非製造業での改善が目立っている。

1. 概況 (全産業)

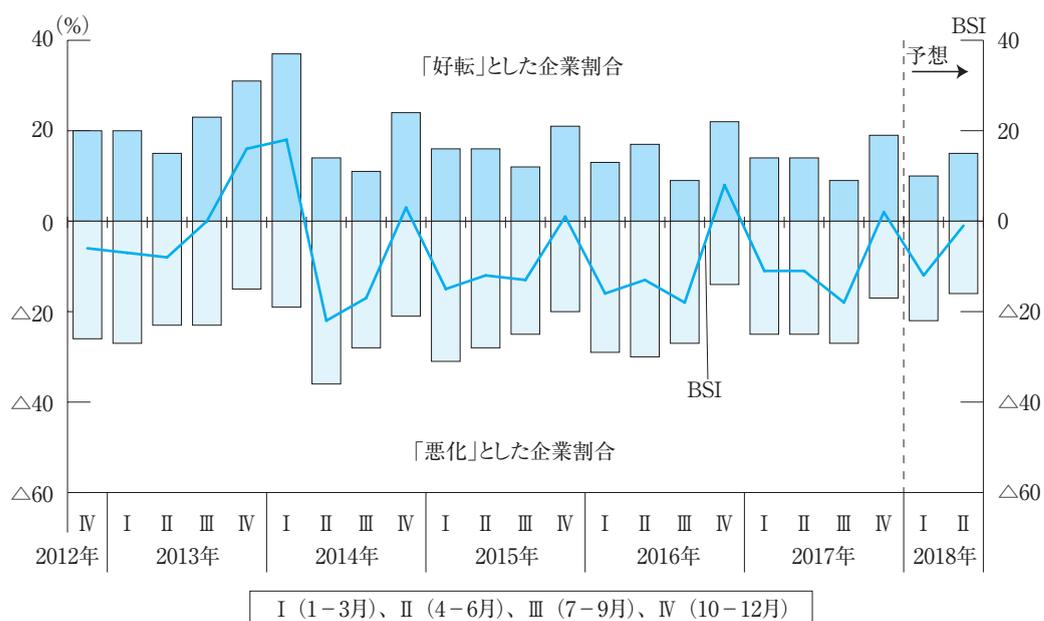
【2017年10～12月期の実績】 業況判断は改善、前回調査時と比べるとほぼ横ばい

県内企業の当期(2017年10～12月期、以下同じ)の業況判断は、前期と比べ、好転の比率が上昇し、悪化が同程度低下したことから、全体として改善した。

B S I (業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値)でみると、前期に比べ、売上げB S I ($\Delta 1 \rightarrow 19$ (前回調査時の予想16))、収益B S I ($\Delta 8 \rightarrow 10$ (同10))、業況判断B S I ($\Delta 18 \rightarrow 2$ (同1))はともに改善した。

2017年10～12月期の業況判断B S I を2012年からみると、 $\Delta 6 \rightarrow 16 \rightarrow 3 \rightarrow 1 \rightarrow 8 \rightarrow 2$ (今回)となっている。県内景気が緩やかに持ち直す中、業績は回復しているものの、その状況に満足できていない企業が依然として多いことが示されている。

企業経営者による業況判断



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転(増加)」「不変」「悪化(減少)」の回答を求めており、B S Iはこのうち「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このB S Iから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点(景気の山、谷)や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみるのが可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

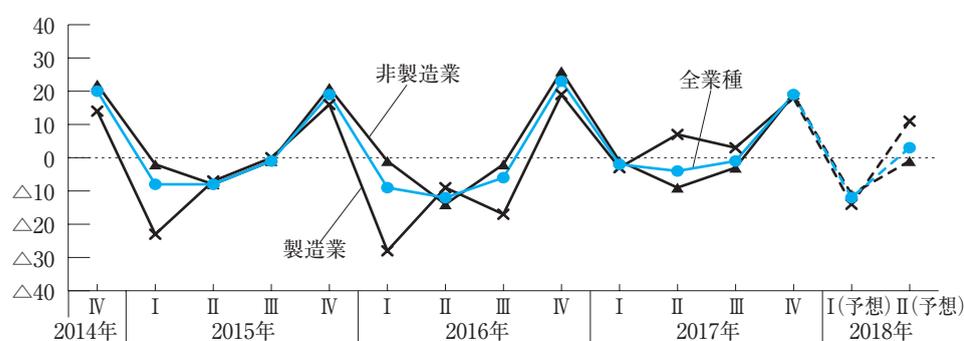
【2018年1～3月期の予想】 業況判断は悪化する見通し

2018年1～3月期の予想は、2017年10～12月期に比べ売上げBS I (19→△12)、収益BS I (10→△10)、業況判断BS I (2→△12)はともに悪化する見通しである。この業況判断BS Iは、前年同期実績(△11)とほぼ横ばいとなっている。

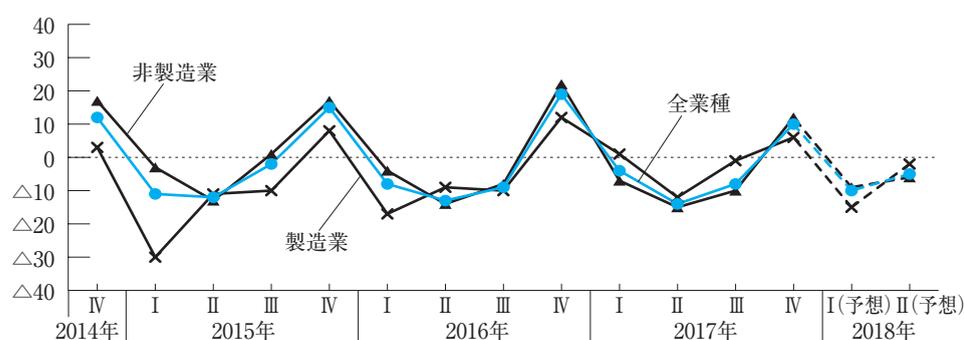
【2018年4～6月期の予想】 業況判断は再び改善する見通し

4～6月期の予想は、1～3月期に比べ、売上げBS I (△12→3)、収益BS I (△10→△5)、業況判断BS I (△12→△1)はともに改善する見通し。この業況判断BS Iは前年同期実績(△11)と比べ改善している。

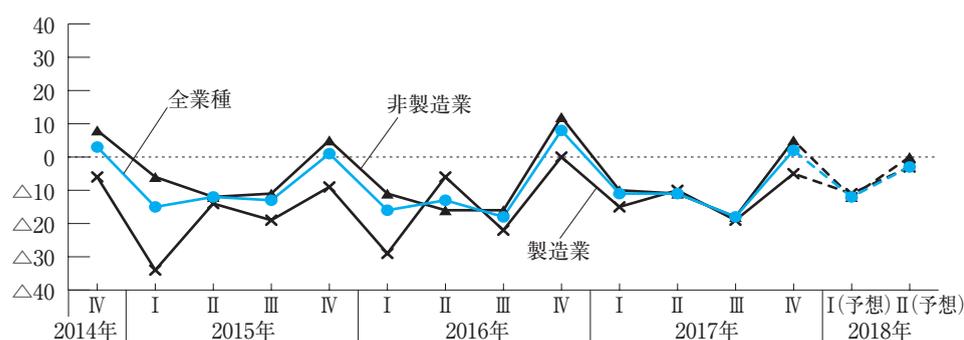
(1) 売上げBS I



(2) 収益BS I



(3) 業況BS I



2. 製造業の動向

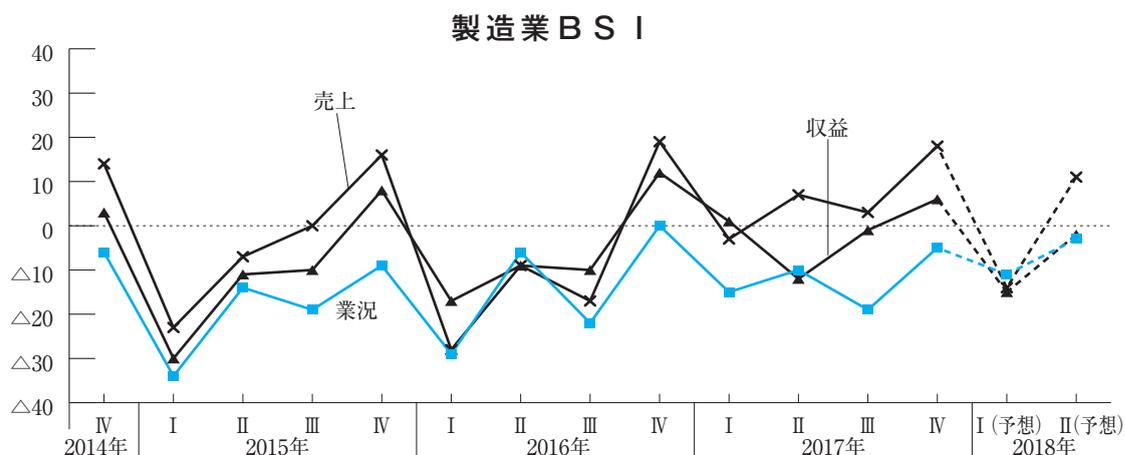
【製造業の現状】 業況判断は改善

前期に比べ、売上げBSI (3→18 (前回調査時の予想12))、収益BSI ($\Delta 1 \rightarrow 6$ (同5))、業況判断BSI ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 5$ (同 $\Delta 1$))はともに改善した。もっとも、前年同期と比べると、売上げBSI (19→18)はほぼ横ばい、収益BSI (12→6)、業況判断BSI (0→ $\Delta 5$)は悪化している。

【先 行 き】 業況判断は、1～3月期は悪化の一方、4～6月期は改善する見通し

2018年1～3月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI (18→ $\Delta 14$)、収益BSI (6→ $\Delta 15$)、業況判断BSI ($\Delta 5 \rightarrow \Delta 11$)はともに悪化する見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期($\Delta 15$)よりも4ポイント上回っている。

4～6月期の予想は、1～3月期予想に比べ、売上げBSI ($\Delta 14 \rightarrow 11$)、収益BSI ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 2$)、業況判断BSI ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 3$)はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIは、前年同期($\Delta 10$)よりも7ポイント上回っている。



3. 非製造業の動向

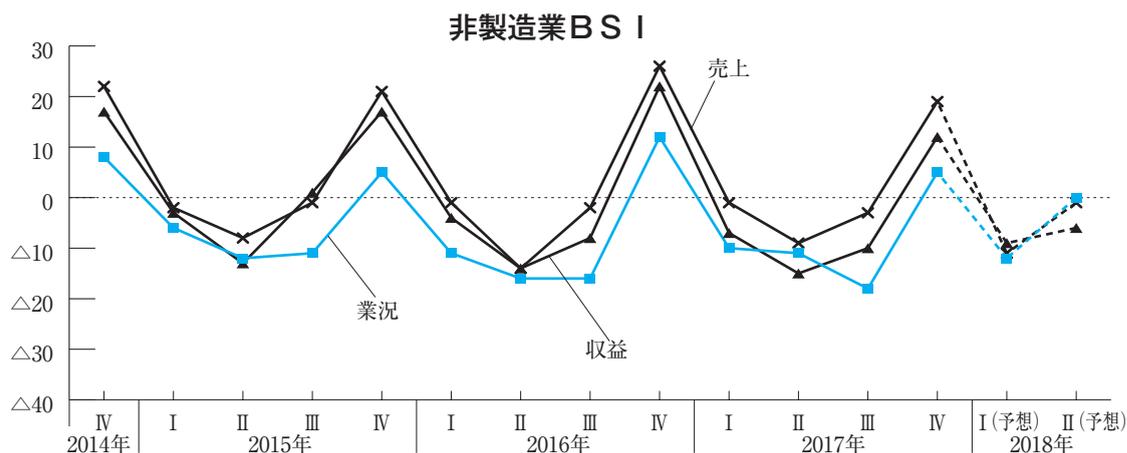
【非製造業の現状】 業況判断は改善

前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 3 \rightarrow 19$ (前回調査時の予想17))、収益BSI ($\Delta 10 \rightarrow 12$ (同12))、業況判断BSI ($\Delta 18 \rightarrow 5$ (同2))はともに改善した。もっとも、前年同期と比べると、売上げBSI (26→19)、収益BSI (22→12)、業況判断BSI (12→5)はともに悪化している。

【先 行 き】 業況判断は、1～3月期は悪化の一方、4～6月期は改善の見通し

2018年1～3月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI (19→△11)、収益BSI (12→△9)、業況判断BSI (5→△12) はともに悪化する見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期(△10)とほぼ横ばいとなっている。

4～6月期の予想は、1～3月期予想に比べ、売上げBSI (△11→△1)、業況判断BSI (△12→0) は改善、収益BSI (△9→△6) もやや改善する見通し。また、この業況判断BSIは、前年同期(△11)と比べ改善している。

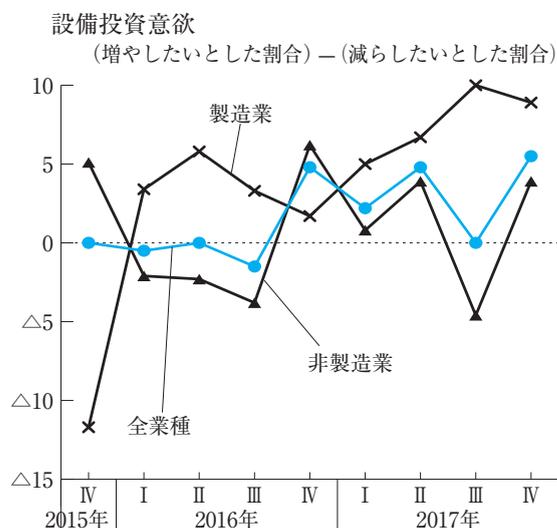


4. 設備投資の動向

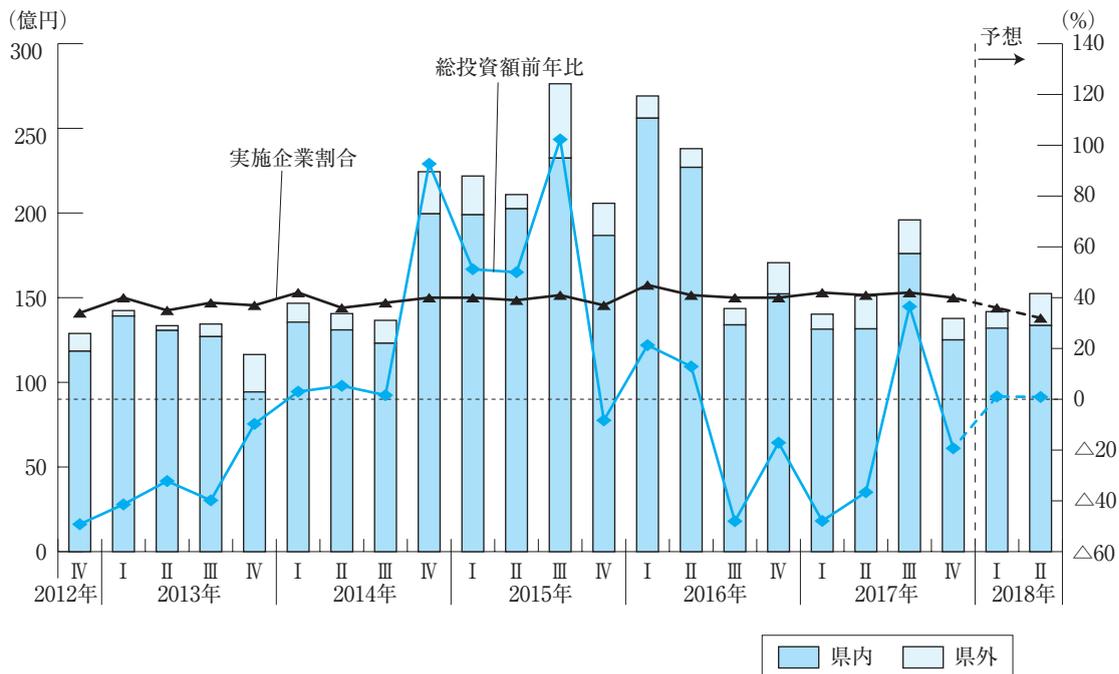
回答企業(全産業)のうち、2017年10～12月期において1百万円以上の設備投資(新規リース契約を含む)を実施した企業は全体の40.2%、総投資額は137億円73百万円(うち県内投資額は125億7百万円)であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業とも減少したことから、全体では19.3%減となった(前期比でも29.7%減)。また、実施企業の割合は0.6ポイント上昇した。

先行きの計画をみると、2018年1～3月期の実施企業割合は35.9%で前年同期より5.7ポイント低下の一方、総投資額は約142億円で前年同期比1.1%増の見込み。4～6月期の総投資額は、約152億円で同0.9%増の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲(全産業)は、「増やしたい」が15.8%、「減らしたい」が10.3%、「ほぼ変わらない」が73.9%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率(+5.5ポイント)は、前期(±0.0ポイント)と比べ上昇している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、51.8%で前年同期より1.7ポイント低下した。総投資額も、119億39百万円（前年同期146億26百万円）で、大手の化学、電気機械を中心に前年同期比18.4%減となった。うち、県内投資額は108億33百万円（同133億26百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が上昇、「増産・拡販のため」がほぼ横ばい、「合理化・省力化」は低下となっている。

先行きの計画について、2018年1～3月期の総投資額は約128億円で前年同期比1.5%増、4～6月期は約137億円で同0.8%増の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合（19.6%）が「減らしたい」とする企業割合（10.7%）を8.9ポイント上回ったが、この差は4期ぶりに縮小している。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、35.2%で前年同期より1.8ポイント上昇した。一方、総投資額は18億34百万円（前年同期24億40百万円）で、建設業、小売業での減少を主因に、前年同期比24.8%減となった。県内投資額は16億74百万円（同18億94百万円）となっている。

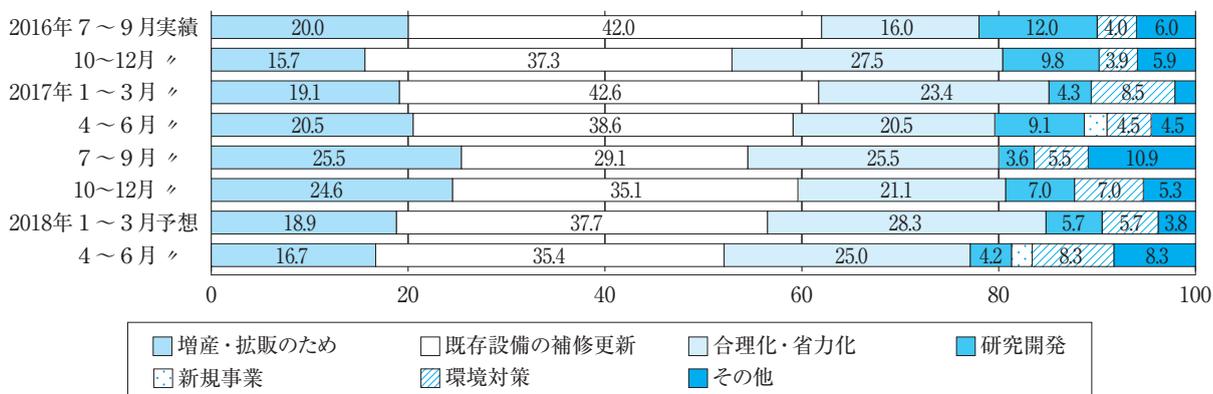
目的別にみると、前期と比べ、「拡販のため」の比率が上昇した一方、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」は低下した。

先行きの計画について、2018年1～3月期の総投資額は約14億円で前年同期比2.5%減の一方、4～6月期は約21億円で同38.1%増となる見込みである。

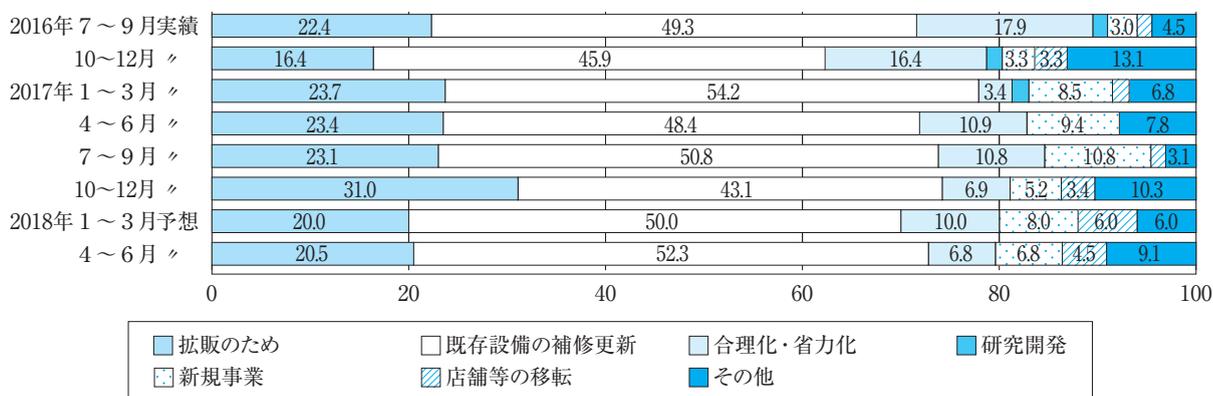
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合（14.1%）が「減らしたい」とする企業割合（10.2%）を3.9ポイント上回り、2期ぶりに上昇した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	1	1	0
	1～3百万円未満	1	1	0
	3～5百万円未満	4	0	4
	5～10百万円未満	3	0	3
	10～50百万円未満	101	25	76
	50～1億円未満	44	17	27
	1億円以上	30	12	18
	計	184	56	128
従業員数	10人未満	18	4	14
	10～30人未満	36	10	26
	30～50人未満	40	10	30
	50～100人未満	28	5	23
	100～200人未満	30	8	22
	200～300人未満	12	8	4
	300～	20	11	9
計	184	56	128	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		6
	繊維製品		4
	木材・木製品		10
	パルプ・紙		3
	化学工業		7
	窯業・土石		5
	機械・金属		15
	その他		6
	計		56
非製造業	建設業		16
	運送業		12
	卸売業		34
	小売業		25
	サービス業		40
	その他		1
計		128	
総数		184	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年4～6月実績	17	53	30	△13	19	56	25	△6	16	52	32	△16
7～9月々	9	64	27	△18	8	62	30	△22	9	66	25	△16
10～12月々	22	64	14	8	19	62	19	0	24	64	12	12
2017年1～3月々	14	61	25	△11	15	55	30	△15	13	64	23	△10
4～6月々	14	61	25	△11	10	70	20	△10	16	57	27	△11
7～9月々	9	64	27	△18	8	65	27	△19	9	64	27	△18
10～12月々	19	64	17	2	16	63	21	△5	20	65	15	5
2018年1～3月予想	10	68	22	△12	7	75	18	△11	11	66	23	△12
4～6月々	15	69	16	△1	13	71	16	△3	16	68	16	0

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年4～6月実績	27	34	39	△12	29	33	38	△9	26	34	40	△14
7～9月々	26	42	32	△6	20	43	37	△17	28	42	30	△2
10～12月々	43	37	20	23	40	39	21	19	45	36	19	26
2017年1～3月々	28	42	30	△2	27	43	30	△3	29	41	30	△1
4～6月々	30	36	34	△4	32	43	25	7	29	33	38	△9
7～9月々	28	43	29	△1	30	43	27	3	27	43	30	△3
10～12月々	40	39	21	19	41	36	23	18	39	41	20	19
2018年1～3月予想	20	48	32	△12	18	50	32	△14	20	49	31	△11
4～6月々	27	49	24	3	32	47	21	11	25	49	26	△1

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2016年4～6月実績	26	35	39	△13	29	33	38	△9	25	36	39	△14
7～9月々	25	41	34	△9	25	40	35	△10	25	42	33	△8
10～12月々	41	37	22	19	36	40	24	12	43	36	21	22
2017年1～3月々	27	42	31	△4	28	45	27	1	26	41	33	△7
4～6月々	22	42	36	△14	20	48	32	△12	23	39	38	△15
7～9月々	23	46	31	△8	27	45	28	△1	22	46	32	△10
10～12月々	33	44	23	10	36	34	30	6	32	48	20	12
2018年1～3月予想	19	52	29	△10	14	57	29	△15	21	49	30	△9
4～6月々	21	53	26	△5	23	52	25	△2	20	54	26	△6

(注) B S I = (好転) - (悪化)